

都市環境部みどりと環境課環境対策担当

## 放射線に関する今後の対応について

東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に伴い、現在、東京都健康安全研究センターにおいて、都内7か所の空間放射線等の測定結果をホームページで公開しています。また、東京都が実施する都内100ヶ所の空間放射線量の測定においても、現時点で健康に影響を与える数値ではないとされておりますが、引き続き、市民のみなさまの健康についてご心配するお問い合わせが大変多く寄せられているため、さらなる市民生活の安心のため次のとおり測定を実施いたします。

なお、測定結果は公式ホームページ及びたま広報で随時公表してまいります。

### 1. 都内100ヶ所の測定として、都が実施した市内2地点の継続測定

市は東京都における空間放射線等の測定結果を、市民へ提供する基本情報と位置づけ、これを補完することを目的に、都が実施した市内2地点を定点として、9月末までの概ね3ヶ月間を目途に都から貸与された簡易測定機器を活用して継続測定を実施する。あわせて、都のデータとの相関を把握する。

- 測定項目 空間放射線量
- 測定場所 多摩市立図書館グラウンド、多摩市立東永山複合施設グラウンド
- 測定頻度 1週間に1回
- 測定期間 7月から9月末までのおおむね3ヶ月を目途とする
- 測定方法 地上高5cm、50cm、100cmごとに計測

### 2. 市内小中学校、保育園、児童館等のグラウンドでの測定

市内のバックグラウンド値を把握することを目的に、都から貸与された簡易測定機器を活用し、市内小中学校、保育園等の子どもの対象施設にて測定を行う。

- 測定項目 空間放射線量
- 測定場所 多摩市立小中学校27校、保育園2園、児童館10館及び子育て総合センター等の各グラウンド1ヶ所
- 測定頻度 1回
- 測定期間 関係職員を対象に機器取扱講習会后、速やかに開始  
7月から実施予定
- 測定方法 地上高5cm、50cm、100cmごとに計測

### 3. 災害対策用飲料用貯水槽（井戸）の放射性物質量の検査

市内 5 か所の災害対策用飲料用貯水槽（井戸）について、バックグラウンド値を把握するため、委託により放射性物質の測定を行う。

- 測定項目 ヨウ素 131・セシウム 134・セシウム 137
- 採水場所 市内 5 か所の災害対策用飲料用貯水槽（井戸）
- 測定頻度 1 回実施
- 測定期間 7 月から実施予定
- 測定方法 業務委託

### 4. 水道取水口における異常値が計測された場合の測定

水道局の測定結果に異常値が計測された場合、水道水の放射性汚染物質の測定を委託により行う。

- 測定項目 ヨウ素 131・セシウム 134・セシウム 137
- 採水場所 多摩市役所
- 測定頻度 1 日 1 回の採水
- 測定期間 水道局で異常値が計測された翌日から、異常値の解消後 3 日間
- 測定方法 委託業務

問合せ先

健康福祉部健康推進課

電話 0 4 2 - 3 7 6 - 9 1 1 1

都市環境部みどりと環境課

電話 0 4 2 - 3 3 8 - 6 8 3 1